※令和４年度以降入学生用

学校番号	317

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことや考えたことを表す「絵画・彫刻」、目的や機能を考えて創造する「デザイン」、作品から感じ取ったことから考える「鑑賞」の分野について学習します。
自分が感じたことや考え方、ものの見方を、さまざまな表現形式や色彩、形体を用いて自分なりに表現しましょう。「鑑賞」では、美術作品のよさや美しさを味わうとともに、自分とは違うものの見方を知り、理解を深めていきます。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構成を練っている。	多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、制作に生かそうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	高校で学ぶ美術とは	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書の作品や資料の鑑賞を通して、美術作品を鑑賞する楽しさを感じ取ったり、多様な表現があることを学び、高校で学ぶ美術についてのイメージを持つ。	a: 美術作品の鑑賞を通して、そのすばらしさを感じ取り、創造活動についての理解を深めている。 c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	学習活動の様子 レポート		学習活動の様子 レポート
	色彩基礎演習	【デザイン】 ・演習1 色彩についての基本的事項を演習し、混色についての理解を深める。 ・演習2 色彩の調和や対比を生かした配色についての理解を深める。 デザインガッシュ使用	a: デザインガッシュの特性を活かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 b: 配色の条件を踏まえたうえで、美しさの観点から色彩の効果を考えて、表現の構想を練っている。 c: 混色の法則に則った手順に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら、構想を練ったり、表現したりしようとしている	制作の様子 製作途中の作品 作品	制作の様子 製作途中の作品 作品	制作の様子 製作途中の作品 作品
	パターン模様(タイル模様)	【デザイン】 ・アイデアスケッチ ワークシートを使って基本形を考案する。 ・原案(下絵)作成 基本形を展開し、模様のテーマや作品の原案を決定する。 ・制作 デザインガッシュを用いて、テーマに合った配色で着色する。	a: デザインガッシュの特性を生かし、製作工程を考慮したうえで、計画的に着色し、表現している。 b: 自分でテーマを設定し、そのテーマを表すように形や色彩の働きを考えて、表現の構想を練っている。 c: 条件を踏まえて模様の形態を考案することに関心を持ち、形や色彩の効果を考えて構想を練ったり、表現したりしようとしている。	制作の様子 製作途中の作品 作品	制作の様子 製作途中の作品 作品	ワークシート 制作の様子 製作途中の作品 作品

※令和４年度以降入学生用

2学期	ストーリーのあるイラストレーション	【デザイン】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 与えられた条件にあわせて、登場人物や動物、背景などの場面を想定し、自由に発想を広げる。 ・制作 表現方法を工夫して、デザインガッシュにより着色する。 ・相互鑑賞	a: デザインガッシュの特性を生かし、伝達すべき意味や内容に合わせて、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的に表している。 形や色彩が感情にもたらす効果を理解している。 b: 与えられた条件に合わせて、情景を設定し、形や色彩の働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 伝えたい内容を表現することに関心を持ち、登場人物や動物の役割を考えながら、画面構成を工夫して表現しようとしている。 相互鑑賞を通して、それぞれの作品のよさや、面白さに気づき、その絵が伝えようとしている意味や内容について、理解を深めようとしている。	制作の様子 製作途中の作品 作品	アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 作品	アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
	日本の美術	【鑑賞】 ・教科書や資料の作品から、日本の美術作品を班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	a: 日本の美術の特質や様式、主題や表現方法について理解を深めている。 b: 日本の美術の表現の特質について、自分なりの考えを持って、意見を述べている。 c: 日本の美術の表現の特質に関心を持ち、その時代の美術文化について理解しようとしている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	身近なものを描く	【絵画・彫刻】 身近なものをさまざまな角度から捉え、その形状の特徴をつかみ表現する。	a: 鉛筆の特性をいかして、表現方法を工夫し、創造的に表している。 b: 観察により形体や色調の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c: 対象物の特徴をつかむことに関心を持ち、それを表現しようとしている。	制作の様子 製作途中の作品 作品	制作の様子 製作途中の作品 作品	制作の様子 製作途中の作品 作品
3学期		【デザイン】 ・動物の写真を基にして、色面分割された下絵を考案	a: デザインガッシュの特性をいかして、表現方法を工夫している。	制作の様子	制作の様子	制作の様子

※令和４年度以降入学生用

	動物の色彩構成	する。 ・デザインガッシュで着色する。	色彩が全体のイメージに与える効果を理解している。 b: 色面の分割や配色を工夫して、表現の構想を練っている。 c: 動物の特徴を生かして表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	製作途中の作品 作品	製作途中の作品 作品	製作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度